



日本女子オープンゴルフ選手権競技

9月28日(木)→10月1日(日) 我孫子ゴルフ倶楽部(千葉県)

手賀沼と利根川に挟まれた台地と谷地を巧みに利用し、
幽邃な森と理想的な地形によって、
戦略性の高い関東屈指の名コース



申ジエ
1988年韓国生まれ。
韓国・米国にて賞金
女王獲得。
現在日本女子ツアー
賞金女王を目指し活躍中。

Par And Yardage

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Yards	514	401	525	157	374	157	428	410	387	3,353	6,706
Par	5	4	5	3	4	3	4	4	4	36	72
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Yards	365	391	195	362	381	519	184	524	432	3,353	
Par	4	4	3	4	4	5	3	5	4	36	

<初日>チョン・インジ、チェ・ヘジンら、世界ランク上位の後輩韓国選手も迎えてのナショナルオープンが始まった。初日から悪天候に見舞われ、アン・ソンジュ、蔦葉ルミと組んでの予選ラウンドはスタートが2時間45分遅れとなる不穏な滑り出しに。12番で3パットボギーを先行したが「あの短いパットをミスしたことで、その後の集中力が高まりました」という。インコースを2バーディー、2ボギーのイーブンパーで折り返すと、後半のアウトコースで大爆発。1番パー5で1メートルのチャンスをものにしたのを皮切りに、4番からは3メートル、1メートル半、6メートルを次々に沈め3連続バーディー。最終9番パー4では、残り155ヤードの第2打を6番アイアンでピン左30センチにピタリと止めて、ハーフ31。トータル7バーディー、2ボギーの67で上がった。「朝は長時間待ってスタートして、前半は集中するのが難しかった。後半はショットもパットもよくなって、距離感もピッタリ。いいスコアで満足のいくプレーができました。パターとアイアンを新しいものに変えて、すごく今日が楽しかった」と話し、首位に2打差の3位タイ発進となった。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	○	—	—	○	○	○	—	—	○	-5	67
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	—	—	△	○	—	○	—	△	—	±0	(-5)

<二日目>前日の日没サスペンデッドを受け、13時37分のスタート。16番ティーグラウンドに上がった時点で、この日も日没サスペンデッドとなった。1、3番のパー5でしっかりバーディーを奪い、7番こそボギーとしたものの9、10番と連続バーディー。「13、14番とチャンスについたのにパットミス、入らなかった」と悔しがったが、15番パー5は残り60ヤードの第3打をロフト60度のウェッジで3メートルに乗せてバーディー。「今日は午前中からパー5が獲れていたため、自信を持って打てました」と気分よくこの日を締め切った。「昨日以上にピンポジションが難しかったけど、ショットの感覚がすごくよかった。変則日程にはけっこう慣れているけれど、毎日大変です。4日間競技だし、女子オープンはいつも難しいから、体調管理が大切。集中力を保つことと食べ物には気を付けています。食べるのは少しずつ何回も栄養をとるように。いつもよりたくさん食料を持って歩くので、キャディーバッグがコンビニエンスストアみたいですよ」と笑ってコースを後にした。

翌日早朝から残りの3ホールを消化。17番パー5でもう一つバーディーを追加して、第2ラウンドはベストスコアタイの67。通算10アンダーで単独首位に立った。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	○	—	○	—	—	—	△	—	○	-2	67
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	○	—	—	—	—	○	—	○	—	-3	(-5)

<三日目>第2ラウンドの未消化分をプレー後、成績順にペアリング変更を行って引き続き行われた第3ラウンドは、畑岡奈紗、キム・ヘリムと組んでの最終組。1番パー5でボギーを先行する苦しい立ち上がりだったが、6番パー3でバーディー。好調なショットを生かしてバーディーチャンスを作ったが、後半も11、15番での2バーディーに13番のボギーと、トータル3バーディー、2ボギー、71のゴルフになった。「覚悟はしていたけれど、やっぱりピンの位置が難しく、自分のボールからのラインが微妙なところが多かった。でもまだ18ホール残っているから、明日は楽しみ。畑岡選手とは今日初めて同組でプレーしましたが、いいスイングをしているし、いい選手。自信を持ってプレーしている印象でした。笑顔が素敵で、一緒に回っていてうれしかった。楽しかったです」。通算11アンダー、首位・畑岡と2打差の2位タイで最終日突入。日本女子オープンへの思いを「ナショナルオープンを獲得ということは、歴史に名を残すこと。とても名誉なことだと思います。本当に欲しいタイトルです」と語った。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	△	—	—	—	—	○	—	—	—	±0	71
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	—	○	—	△	—	○	—	—	—	-1	(-1)

<四日目>最終組の1つ前、通称「ラス前」の絶好位を、同じ韓国の新鋭チェ・ヘジンと2サムでスタート。「1番、2番をプレーして、最終日のピンポジションの難しさにビックリしました」と、自己目標に掲げていた5アンダー67を1アンダー71に下方修正したという。4番パー3でバーディーを先行したが、続く5番パー4ですぐにボギー。バンカーからの素晴らしいパーセーブなども多かったが、後半も12番でボギーの後、13番、17番で2バーディーを奪うにとどまった。「残念なパッシングもあったけど、たくさんのギャラリーの中で楽しくプレーができてよかったです。ただ、私がどんなにパッシングの調子がよくても(畑岡さんの優勝スコアの)20アンダーは行けなかったですよ。彼女は別のコースを回ってるんじゃないかなと思いました(笑)」と、スタート後の自己目標どおりの71で、通算12アンダー。畑岡とは8打差がついたが、単独2位でフィニッシュとなった。「でも去年が3位、今年が2位と来ているので、また来年チャンスがあると思っています。頑張ります。ツアー前半戦は体調面で苦しみました。今は体力的にも4日間大会で持つようになった。まだまだ今シーズン残り試合でも頑張っていきます！」と、両腕でガッツポーズを作ってみせた。

Hole	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out	Total
Score	—	—	—	○	△	—	—	—	—	±0	71
Hole	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	
Score	—	—	△	○	—	—	—	○	—	-1	(-1)

Full Leader Board

RANK	PLAYER	SCORE	1R	2R	3R	4R	Total	RANK	PLAYER	SCORE	1R	2R	3R	4R	Total
1	畑岡 奈紗	-20	67	68	68	65	268	5T	チョン インジ	-9	72	69	68	70	279
2	申ジエ	-12	67	67	71	71	276	5T	キム ヘリム	-9	65	71	69	74	279
3	@小倉 彩愛	-11	70	67	70	70	277	8	菊池 絵里香	-8	68	75	67	70	280
4	鈴木 愛	-10	71	67	69	71	278	9T	上田 桃子	-7	74	69	70	68	281
5T	柏原 明日架	-9	66	75	69	69	279	9T	有村 智恵	-7	71	67	70	73	281